



Title	補助動詞「V-てしまう」の動画教材の提案
Author(s)	李, 秀珍; 篠田, 百杏; ソンダ, サンジャヤ 他
Citation	阪大日本語教育学研究. 2021, 12, p. 41-66
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/83187
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

補助動詞「V-てしまう」の動画教材の提案

李秀珍、篠田百杏、ソ ندا・サンジャヤ、リスマ・リスマラティ、林剣鴻
(五十音順)

1. はじめに

補助動詞「V-てしまう」は多くの場合初級の文法項目として「完了」、「残念・後悔」を表すと指導されることが多いが、「落ちると思っていた試験に、受かっちゃった。」(「Vちゃった」は「V-てしまう」の縮約形)のような、「完了」「残念・後悔」ではない用法で使われることがある。しかし初級の文法項目として「完了」「残念・後悔」の用法を学んだあと、それ以外の用法について取り上げられる機会がないために上級以上のレベルの学習者であっても「完了」「残念・後悔」以外の用法を理解し、使用するのが困難となる場合がある。また、補助動詞「V-てしまう」は残念・後悔といった「否定的感情」の意味を持ち、その用法で「V-てしまう」を使用する場合、使用しない場合との違いは感情の付加によるものとなる。筒井(2019)は補助動詞 V-テシマウについて「残念な気持ちを表す」という説明や「財布を落としてしまいました」のような例文が学習者にとって理解や使用がしやすいという声が聞かれることから、学習者に説明する際、それを使用する際の状況とその発話に付随する感情について説明する必要性を示唆している。そこで本稿では「完了」「否定的感情」以外の「V-てしまう」が用いられる用法について、「普通はしないことをする」「意外なことで嬉しいことがあった」という2つの用法を取り上げ、学習者が「使用する」ことを目的とした動画教材を作成する。また、それぞれの用法について中国語・インドネシア語・韓国語との対照を行い、各言語の母語話者に対する導入の際の留意点について考察する。

2. 本稿の目的

- I. 「完了」と「残念・後悔」以外の用法で用いられる補助動詞「V-てしまう」について用法を絞ったうえで、その用法を学習者が「使用する」ことを意識した動画教材を提案する。
- II. I で用いた用法について、中国語・韓国語・インドネシア語と対照する。

3. 先行研究

3.1 「V-てしまう」に関する先行研究

補助動詞「V-てしまう」及びその縮約形である「V-ちゃう」に対する研究は多くなされ、豊富な成果が挙げられる。吉川(1973)は「V-てしまう」の用法を以下の5つにまとめている。

- ①ある過程を持つ動作がおしまいで行われることをあらわす。
「ぜんぶの組がことばを送ってしまうと、組の終わりの人が、書いた紙を読みあげた。」
(吉川(1973): 228)
- ②積極的に動作に取り組み、これをかたづけることをあらわす。

「かきの木を切ってしまうんだってよ (吉川(1973)：234)

③ある動作・作用が行われた結果取りかえしがつかないという気持ちをあらわす。

「「わが軍は勝ったぞ。」とひと声さけんで、ぱったりとたおれてしまった」
(吉川(1973)：237)

④動作が無意識的に行われることをあらわす。

「人々はおどろいてしまった。」 (吉川(1973)：243)

⑤不都合なこと、期待に反したことが行われることをあらわす。

「竹では水にういてしまうので、ブリキにしました。」 (吉川(1973)：230)

①は「完了」、③⑤は「否定的感情」といえる。「完了」「否定的感情」以外の用法に関しては、積極的に動作に取り組み、これを片付けることを表わす②、無意識動作を表わす④の意味について記述している。

「V-てしまう」の持つ感情的意味として、肯定的感情について記述しているものに汪他(2018)、田村(2013)、張(2011)、中山(2013)等がある。汪他(2018)は「V-てしまう」の用法を「残念感・遺憾」、「一掃」、「無意識」、「予想外感」の4つに大別しており、「予想外感」の用法としてあげられている例の中に喜びの感情を含むものがある。

(1) 今年は絶対無理だと思っていた司法試験。なんと今回、受かってしまいました。
(汪他(2018)：26)

田村(2013)は「V-てしまう」の形式は、必ずしも否定的な情的情報のみを伝達するのではなく、「予想外の驚き・喜び」といった肯定的な情的情報も伝達することがあると示し、以下のような例を示している。

(2) ねえ、聞いて！先生に褒められちゃった。

(3) 宝くじ、当たっちゃった！ (田村(2013)：3)

田村は、このように「V-てしまう」形式が肯定的な情的情報を伝達する場合、「予想外の驚き・喜び」に限定されられている。

張(2011)は「V-てしまう」の「話者の感情・評価的用法」として、負の感情だけでなく「話者のプラスの感情評価」も表すことがあり、その場合「V-ちゃう」の形式が用いられやすいと述べている。張は以下の例において、(4)は正の感情が表されるのに対し、(5)では負の感情評価を表すと述べている。

(4)おいしいワインをいただいちゃいました。

(5)おいしいワインをいただいてしまいました。

(張(2011) : 136)

これに関し張は、「V-ちゃう」は話者の生の感情評価を下すというより、話者の負の感情を弱めるとしている。

中山(2013)は「てしまう」の意味を「アスペクト的意味」と「感情・評価的意味」とに二分化したうえで、「アスペクト的意味」は完了、「感情・評価的意味」は「残念」、「遺憾」等のマイナスの意味のほか、「喜び」などのプラスの意味があるとまとめている。中山は以下の文をプラスの意味の「V-てしまう」が用いられている例として挙げている。

(6)今まで引っかかっていたものが全て落ちてしまった、さわやかな気分である。

(7)良い食材は美味しいので自然に食べてしまうものです。

(中山(2013) : 35)

中山はこのような「V-てしまう」の「感情・評価的意味」は文脈より派生する意味であるとしている。

松本ら(2019)は日本語教育で扱われている「V-てしまう」における「完了」、「後悔、残念」以外の用法を再考した上で「完了」、「後悔、残念」以外の「照れ隠し」「予想外の嬉しい驚き」の2つの用法を学習者に導入すべき用法として選定している。松本らは「照れ隠し」「予想外の嬉しい驚き」の用法を以下のように定義している。

「照れ隠し」:

自分の能力や、自分の身に起こったプラスの事態を伝える際、聞き手に自慢げに聞こえてしまうことを避けるためのぼかし表現である。

(8) (少し英語が得意だと自負している A が、たまたま友人の前で英語を使うチャンスがあった時。)

A の友人: すごーい、めっちゃ英語上手やん。英語ペラペラやね。

A : なんか、通じちゃった。

(松本ら(2019) : 47)

「予想外の嬉しい驚き」:

自分の身に起こったプラスの事態を、驚きとともに喜びを交えて伝えるときに使う表現である。

(9) (超難関校を受験した人が、自信がなかったのに合格通知をもらった場面。)

「嘘！合格しちゃった」

(松本ら(2019):52)

松本らはこれらの用法について、中国語・インドネシア語学習者に対する導入方法を検討している。

3.2 日本語教科書・指導手引書における「V-てしまう」

ここでは、日本語教科書・指導手引書において「V-てしまう」のどのような用法がどのような例文とともにとりあげられているかを示す。

3.2.1 日本語教科書における「V-てしまう」

日本語教科書『文化初級日本語Ⅱ』(1987)、『初級日本語げんきⅡ』(1999)、『みんなの日本語初級Ⅱ第二版』(2013)において補助動詞「V-てしまう」がどのように扱われているかを見る。

『文化初級日本語Ⅱ』第19課では、迷子の場面の会話の中で「V-てしまう」が扱われている。

(10) 店員 A：どうかなさいましたか。

客：あ、あの、子供がいなくなっちゃったんです。この辺に3歳ぐらいの男の子がいませんでしたか。

店員 A：3歳ぐらいの男のお子さんですか。

客：ええ。私が試着している間に、いなくなっちゃったんです。

ほんの2、3分の間に、どこかへ行っちゃったんです。

また、第24課では、「親しい人との会話」という内容で、「V-てしまう」の縮約形「V-ちゃう」について以下のような例文を用いて記述されている。

(11) A：どうしたの？

B：財布落としちゃったんだ。

ここでの「V-てしまった」はすべて「否定的感情」の用法で用いられており、「完了」の用法やそれ以外の用法については記述されていない。

『初級日本語げんきⅡ』第18課「会話」部分では、「V-てしまう」「V-ちゃう」を用いた以下の会話が見られる。

(12) 客：すみません。しょうゆを落としちゃったんです。ごめんなさい。

ジョン：いえ、大丈夫です。あっ、スカートが汚れてしまいましたね。

客：本当だ。どうしよう。

ジョン：今すぐ、タオルを持ってきます。

「会話」部分で用いられている用法は「否定的感情」のみである。また、同課の「文法」部分では、以下の例文が挙げられている。

(13) 本を読んでしまいました。

(14) 電車の中にかばんを忘れてしまいました。

(15) 宿題をなくしちゃった。

(13)は「完了」の用法、(14)(15)は「否定的感情」の用法で、(15)は縮約形の「V-ちゃう」形式である。「完了」「否定的感情」以外の用法については言及されていない。

『みんなの日本語初級Ⅱ第二版』第29課では、「V-てしまう」の例文として以下のものが挙げられている。

(16) シュミットさんが持ってきたワインはどこですか。

…みんなで飲んでしまいました。

(17) いっしょに帰りませんか。

…すみません。このメールを書いてしまいますから、お先にどうぞ。

(18) 約束の時間に間に合いましたか。

…いいえ、遅れてしまいました。道を間違えたんです。

(19) どうしたんですか

…タクシーに荷物を忘れてしまったんです。

(16)と(17)は「完了」の用法、(18)と(19)は「残念・後悔」の用法の例文であり、それ以外の用法については記述されていない。

このように、初級日本語教科書は主に「V-てしまう」の「完了」「否定的感情」を示している。また、「V-ちゃう」についての言及がない教科書もある。

3.2.2 指導手引書における「V-てしまう」

今回は、市川(2005)『初級日本語文法と教え方のポイント』、松岡他(2011)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』、友松他(2013)『改訂版どんときどう使う日本語表現文型 200 初・中級』、における「V-てしまう」の項目を参照する。

市川(2005)は、「36 ～てしまう」において、「～てしまった」「～てしまう」「～てしまおう」「～てしまってください」の形式に分けて意味用法を示している。「～てしまった」

は「物事の完了」と「後悔・残念(遺憾)の気持ち」の2つの意味用法があるとし、「無意志動詞+てしまった」のときは後悔・残念(遺憾)の意味になりやすいとしている。「～てしまう」については、「私は毎晩9時には寝てしまう」のような場合は「近い将来、あるいは、ある時点で、動作・自体が完了すること」を表し、「早く買わないと、なくなってしまうよ。」のような場合は「話し手の後悔・残念(遺憾)の気持ち」を表すとしている。「～てしまおう」「～てしまってください」は「意志動詞と結び付いていろいろな形で使われる」とし、「このビデオは午前中に見てしまおう。」「そんなもの、捨ててしまえ。」等の例文が挙げられているが、例文はいずれも「完了」用法のものである。また、どの形式であっても、「～てしまう」が「完了」「後悔・残念(遺憾)」いずれの用法で用いられるかは構文的な条件と文脈・状況的な条件に関係すると述べている。

松岡他(2011)では、「V-てしまう」の意味として「無意志動詞+てしまう」のときは後悔の意味になりやすいこと、「～てしまおう」のときは完了の意味になることを示している。また「～てしまう」が表す完了は、基本的には動作主が意志的に行ったものであり、「無意志動詞+てしまう」の場合は完了を表しにくいために後悔の意味になりやすいとしている。「完了」「後悔」以外の意味用法に関しての記述はない。

友松他(2013)では、「13.1 意図的行動」の中で「V てしまいます(1)」「V てしまいます(2)」の2つの項目によって用法が示されている。「V てしまいます(1)」では「A: あの本、もう読みましたか。B: ええ、もうぜんぶ読んでしまいましたから、どうぞ。」といった例が示され、「全部/完全に/早く…を済ませる(済ませた)」ということを特に心理的に強調したいときに使う。強調する必要がある時に使うと不自然である。」という説明がなされている。この例文、説明は「V-てしまう」の「完了」用法についてのものである。また、「もっと時間がかかると思いましたが、30分で着いてしまいました。」という例文を用い、「話す人の意外な気持ちを含めて言うときにも使う」という説明がなされており、「意外性」用法にも言及されている。また、「V てしまいます(2)」では、「買ったばかりの時計が壊れてしまった。」といった例文が示され、「話す人の「もう間に合わない・失敗した・残念だ・困った」という気持ちを表す。」と「否定的感情」用法についての説明されている。

指導手引書においても「完了」「否定的感情」の2つの用法が中心的に扱われており、それ以外の用法や肯定的感情の意味については、友松他(2000)において「完了」用法の中に「意外性」を含む例が扱われていた。

3.3 先行研究の問題点

以上に示した先行研究の問題点としては、以下のことがあげられる。

まず、補助動詞「V-てしまう」の用法をまとめているものの中には、「完了」「後悔・残念」以外の意味用法として「片付け」「無意識」などの用法が示されているものの、「嬉しい」といった肯定的感情の用法については記述がなされていないものも多い。

また、「嬉しい」といった肯定的感情の用法について記述がされているのものであっても、日本語学習者に対する具体的な導入方法や指導方法について示しているものは少ない。

松本ら(2019)は「V-てしまう」の肯定的感情を含む「完了」「後悔・残念」以外の用法について日本語学習者に対する導入方法を検討している。その際、汪ら(2018)、山崎(2016)をもとに「予想外の嬉しい驚き」「照れ隠し」の用法を選定しているが、提案している会話は理解向けの教材となっており、使用につなげるにはやや場面設定が不十分であると考えられる。

また、日本語教科書・手引書等においては「完了」「後悔・残念」以外の用法はほとんど示されておらず、学習者がそれ以外の「V-てしまう」の意味用法に触れることができないという問題点がある。

4. 動画教材作成の方法

本節では、「完了」「残念・後悔等の否定的感情」以外の補助動詞「V-てしまう」の用法について、学習者が使用することを目的とした補助動詞「V-てしまう」動画教材の作成方法を示す。

4.1 「V-てしまう」の縮約形「V-ちゃう」について

一色(2011)は「V-ちゃう」について、「V-てしまう」が音韻縮約を起こした形式であり、意味面においては「V-てしまう」とほとんど変わるところはないものの、運用面において、「V-てしまう」がより改まった公的な場面で用いられやすいのに対し、「V-ちゃう」はより日常的で私的な場面において用いられやすいと述べている。また山崎(2011)は望ましいこと、肯定的なプラスの事態について述べる時に「V-てしまう」の縮約形である「V-ちゃう」が用いられていることを示した上で、同じ場面で「V-ちゃう」の代わりに「V-てしまう」を用いると不本意な遺憾の意が出てくるということを示している。張(2011)も同様に、「V-ちゃう」は話者の負の感情を弱め、プラス感情評価を表しやすいとしている。これらのことから、同じ内容の文で「V-てしまう」に比べ「V-ちゃう」は肯定的な感情の用法を表す際に使用されることが多いといえる。そのため、本稿で作成する動画教材では会話の中で用いられる「V-てしまう」について取り上げること、また肯定的感情を含む用法について扱うことから、動画教材には「V-てしまう」の縮約形である「V-ちゃう」の形式を用いる。

4.2 用法の選定について

今回、動画教材を作成する際に取り上げる「V-てしまう」の用法には、「意外なことで嬉しいことがあった」「普通はしないことをする」の2つを選定した。本項ではこの2つの用法選定の過程を示す。

まず、「V-てしまう」の「完了」「否定的感情」以外の用法として「喜び」を表す場合があることは多くの先行研究で述べられているが、「V-てしまう」形式が表す感情的な用法とし

て、日本語教育においては否定的な感情が主に扱われているため、反対である「喜び」の意味を表すということを学習者が知る機会が少ないと思われる。しかし、「喜び」の用法は「V-てしまう」の使用動機を感情の観点から説明することが可能であり、知る機会があれば学習者にとって理解・使用がしやすく、また日常生活で使用する機会も多い用法であると考えられる。そのため、学習者に導入すべき「V-てしまう」の用法として「喜び」を表す用法を選定した。そして、先行研究の多くで「V-てしまう」が持つ「喜び」の意味用法は「予想外性」を含むものであると指摘されている。汪他(2018)は「V-てしまう」の用法の一つとして「予想外感」をあげているが、その例として「喜び」の感情を含む文があげられている。田村(2013)は「V-てしまう形式が肯定的な情的情報を伝達する場合、「予想外の驚き・喜び」に限定されるとしている。そのため、今回作成する動画教材では「喜び」、また「予想外性」を含む「V-てしまう」の用法として「意外なことで嬉しいことがあった」を選定するに至った。

また、今回は「使用する」ための動画教材を作成することを目的としているため、「V-てしまう」が実際に使用される状況から、用法を絞って設定する必要がある。そのため、データを用いて、「V-てしまう」が実際に用いられる状況や用法を参照した。用いたデータは雑談を録音した音声データを文字化したもの、チャットアプリ LINE のチャットデータ、検索サイト Google を用いて検索したインターネット上の書き込みである。音声データを文字化したもの、チャットデータ、インターネット上のデータから「V-てしまう」「V-ちゃう」を含むものを抽出し、「完了」「否定的感情」以外の用法で用いられている「V-てしまう」を含む文を取り出した。その中から、日常会話で頻繁に使用する場面が存在し、学習者にとって理解がしやすく、会話参加者の関係性や性別に関係なく普遍的に使用できると推測できる用法として、「普通はしないことをする」という用法を選定した。以下はデータ内で見られた例である。

(20)A 私はスープをカレーに変えて食べるよ

久しぶりのカレー

B ええやん

A チーズものつけちゃう

B おいしそう

いいな～～！

(LINE)

(20)はカレーにチーズをのせることを報告している場面である。カレーに常にのせる食材ではない「チーズ」をのせることをAが宣言する際、「V-ちゃう」形式が用いられている。

(21) 具材たくさん入れちゃったビスコッティ♥

(クックパッド)

(21)の文は、レシピサイトに投稿されたお菓子のレシピのタイトルである。具材を通常よりたくさん入れたお菓子であるということを表すタイトルに「V-ちゃった」形式が用いられている。

(22)チーズケーキ入れちゃったシュー

(Lawson 商品名)

(22)はシュークリームの中にチーズケーキを入れたお菓子の商品名である。シュークリームの中に入っているのは通常クリームのみだが、そこにチーズケーキを入れたという商品の名前に「V-ちゃった」形式が用いられている。

この(20)、(21)、(22)のデータに見られる「V-てしまう」は「典型とされている基準とは異なること」を行う際に用いられている。汪他(2018)では「V-てしまう」の用法の一つとして「予想外感」が挙げられているが、「普通はしないことをする」という用法は「典型とされている基準と異なることを行う」ことから、汪他の「予想外感」用法に分類ができると考えられる。この用法に関して、形式は「V-ちゃった」「V-ちゃう」「V-ちゃおう」「V-ちゃえ」等を用いることができる。形式、状況が比較的限られており状況を絞って動画教材を作成するのに適している用法であると判断し、この用法を選定した。

候補として挙げた別の用法を以下に示す。

候補 「予想に反し可能であることに対する評価」

(23)

(AがBに自分が通っているネイルサロンについて説明を行っている場面)

A グラデーションのやつ

B うんうん

A でそれがトレンドネイルみたいな感じである

B ふーん

A でアートつけ放題みたいな

B アートつけ放題すごいな

A 一番安いのも分 2980 円とかやで

B あそんな安いんや 3000 円でできちゃうの

A 3000 円でできちゃう

(雑談会話データ)

(23)はAが自分の通っているネイルサロンのメニューや値段をBに説明している場面で

ある。値段を聞いたBは「そんな安いや」と、自分の予想よりも値段が安いことに驚き、「3000円でできちゃうの」と、「可能+V-ちゃう」の形式を用いている。

(24)A 明日バイトなさそう！

B え！最高やん

おでかけできちゃう

(LINE)

(24)ではAが「明日アルバイトがない」ことをBに告げており、Bはそのことによって「おでかけができる」という状況になったことを「可能+V-ちゃう」に形式を用いて述べている。

(23)、(24)は「可能+V-ちゃう」形式を用いて、話者の「予想に反し可能であること」に対する驚き・評価が表されている用法の例である。この用法についても動画教材作成の候補として挙げたが、これらの例をもとに会話作成を行うと、この用法で用いることのできる「V-ちゃう」の形式が限定できないこと、(23)の例では「V-ちゃう」は話者の驚きを表しており、(24)では状況に対する判断を表しているというように話者の表す発話機能が非常に多様であることから、状況を絞りにくく、学習者が使用することも比較的困難であると判断しこの用法について動画作成を行うことは今後の課題とした。

4.3 動画教材の作成について

従来の日本語教科書や手引書においては、「V-てしまう」を導入する際に文単位で提示される場合がほとんどであった。しかし、学習者の使用につなげるためには、場面や発話者の感情を踏まえて使用状況を示す必要があると考えられる。そのため、今回は選定した用法の「V-てしまう」を用いた文を含む一連の会話を作成する。その際、形式や状況に関しては、先行研究や収集したデータをもとに使用されやすいものを選定した。まず、一つ目の「意外なことで嬉しいことがあった」の用法は先行研究において多くの例が示されているが、そのほとんどが「V-てしまった」、もしくは「V-ちゃった」の形式である。

(1)今年は絶対無理だと思っていた司法試験。なんと今回、受かってしまいました。

(汪他(2018)：26)

(2)ねえ、聞いて！先生に褒められちゃった。

(3)宝くじ、当たっちゃった！

(田村(2013)3)

(9) (超難関校を受験した人が、自信がなかったのに合格通知をもらった場面。)

「嘘！合格しちゃった」

(松本ら(2019)：52)

そのため、「意外なことで嬉しいことがあった」用法の会話は「V-ちゃった」形式で作成した。「普通はしないことをする」用法では、「V-ちゃった」「V-ちゃう」「V-ちゃおう」などの形式が使用されるが、これから行為を行う場合は「V-ちゃおう」、既に行った場合は「V-ちゃった」の2つの形式に絞った。それぞれの会話の場面設定の過程については5節で言及する。また、会話内には「V-てしまう」を用いた文以外にも、その用法を用いる場面や感情が理解しやすいような発話を挿入する。「意外なことで嬉しいことがあった」用法では「意外なこと」であること、「嬉しいこと」であることという2つの要素を会話内で示す必要がある。そのため、作成する会話の中に「意外なこと」、「嬉しいこと」であることがわかる発話を入れた。「普通はしないことをする」用法では「普通ではない」ことを示す必要がある。そのため、普通であるという基準を示すことや聞き手の反応によって、会話を見て「普通ではない」ということを示す。また、作成した会話を動画にする際には、筆者らが出演し、リアクションや声のトーン、表情によってもそれらが伝わるよう演技を行った。会話動画の後にはそれぞれの会話内における「V-てしまう」についての解説を挿入している。解説では、会話内で「V-てしまう」が用いられている文と、会話内に挿入したその用法を用いるのに必要な要素(「意外なことで嬉しいこと」、「普通ではないこと」等)を表す発話部分の音声再度流し、動画から切り取った会話参加者の写真とともに文字で発話を示す。その後、「今から行うこと」か「すでにあったことか」を示し、形式と結びつける。

5. 会話教材案

本節では、4節で示した方法で作成した「V-てしまう」動画教材の会話部分とそれぞれの会話の状況設定過程を示す。今回作成した会話は5つであり、会話①～会話③は「普通はしないことをする」用法、会話④～⑤は「意外なことでうれしいことがあった」用法の会話である。

5.1 「普通はしないことをする」

会話① たこ焼きパーティー(普通はしないこと・「V-ちゃおう」)

会話参加者：3名(友人関係、女性同士)

篠田さん：生地が焼けてきたから、そろそろタコを入れよう。

イスジンさん：わたしタコ好きだからたくさん入れちゃおうっと。

篠田さん：だめだよ、タコは一個ずつじゃないと。うまくできないよ。

イスジンさん：はあい。

リスマさん：わたしはチョコレートを入れちゃおう。

篠田さん　　：　チョコレートなんて入れて大丈夫？
リスマさん　：　意外とおいしいよ。
わたしチョコレート大好きだから、何にでも入れちゃうんだ。

「普通はしないことをする」用法で用いられる「V-てしまう」のデータは食べ物に関する場面が多かったため、この用法の動画教材は2つを食べ物に関連した場面に設定した。会話①は、友人同士のたこ焼きパーティーという場面設定である。たこ焼きは「生地にはタコを1つ入れる」という典型的な作り方が決まっていること、また日本の食べ物であるために国による食べ方の差異が生じないことからたこ焼きパーティーという場面を設定した。「普通ではない」ことを理解させるために、動画内で一般的なたこ焼きの作り方という基準を示す必要がある。ここでは典型的な作り方である「タコを一つ入れる」ことを基準にし、基準から外れた「普通でないこと」としてタコの個数の面から「たこ焼きにタコを1つではなく、好きなだけ入れる」、タコではない具材を入れるという面から「たこ焼きにタコではなくチョコレートを入れる」という2つを選んだ。動画内では普通である基準を示す「だめだよ、タコは一個ずつじゃないと」や「チョコレートなんて入れて大丈夫？」という発話も挿入し、それぞれの行為が基準から外れた行為であることが見て理解できるようにした。

会話②　ヨーグルトにチーズ(普通はしないこと・「V-ちゃった」)
会話参加者2名(友人関係、女性同士)

篠田さん　　：　ねえ、見てみて。おいしいもの作ったの。
イスジンさん：　何々？
篠田さん　　：　ヨーグルトに何かのせたの。
イスジンさん：　へえ、何を？
篠田さん　　：　じゃーん。チーズのせちゃった。
イスジンさん：　わあ、すごい。おいしいの？
篠田さん　　：　うん、おいしいよ。すごくおいしいよ。
イスジンさん：　本当に？
篠田さん　　：　本当、本当。ちょっとおいしいから、食べてみて。
イスジンさん：　うん、おいしいね。
篠田さん　　：　でしょう、でしょう。

会話②も会話①と同様に、食べ物に関する場面として、ヨーグルトにチーズをのせるという場面を設定した。収集したデータ内に同様の場面で「V-てしまう」が用いられている例が見られたため、同様の状況の会話を作成した。データ内に見られた例は以下に示す。

(25) ヨーグルトにチーズのせちゃった！

あまじょっぱいの好きな人〜お試しあれ

(クックパッド)

レシピ投稿サイトに投稿されたレシピである。通常はちみつやジャムなど甘い食材をのせるのが一般的だと思われるヨーグルトに、しょっぱいチーズをのせるというレシピのタイトルに「V-ちゃった」形式が用いられている。この場面をもとに作成した会話②では、ヨーグルトにはあまり入れない食べ物であるチーズを入れるという行為で「普通はしないこと」を示している。この会話ではたこ焼きパーティーの場面での「タコを一つ入れる」のような普通の基準が存在しないため、普通でないことが分かるように会話内で「おいしいの?」「本当に?」など、受け手が疑う発話を多く入れることで「普通でないこと」を示している。

会話③ 子猫の写真(普通はしないこと・「V-ちゃった」/「V-ちゃおう」)

会話参加者2名(友人関係、女性同士)

リスマさん : 最近、子猫を飼い始めて、本当にかわいいの。

イスジンさん : へえ！いいなあ。

リスマさん : 毎日、たくさん写真を撮ってるんだ。見てみて。

イスジンさん : へえ、可愛い。

リスマさん : 可愛いでしょう。

本当にかわいくて、SNSとか使ったことなかったんだけど、

昨日初めて写真のせちゃった。

イスジンさん : うん、可愛い。私もうちのワンちゃんのせちゃおうかな。

会話③は、ペットの子猫の写真をSNSに乗せたことについて、友人同士が話している場面である。「普段しないこと」にも「V-ちゃう」が使用できるという例も示すために、この場面を選定した。リスマさんは普段SNSをあまり使わないが、写真をのせたということを伝える発話で「V-ちゃう」を用いている。「普通ではない」ことが分かりやすいよう、「SNSとか使ったことなかったんだけど」という発話を入れている。

5.2 「意外なことで嬉しいことがあった」

先行研究において、「V-てしまう」の「意外性のある喜び」の用法として示される例には「合格」や「当選」の例が多くみられた。

(1) 今年は絶対無理だと思っていた司法試験。なんと今回、受かってしまいました。

(汪他(2018):26)

(3)宝くじ、当たっちゃった！

(田村(2013)：3)

そのため、今回はその中で「当選」を選び、「府営住宅」、「くじ引き」に当選したという場面でそれぞれ会話を作成した。

会話④ 府営住宅(意外なことで嬉しいことがあった・「V-ちゃった」)

会話参加者：2名(友人関係、男性同士)

ソンドさん： あの子、府営住宅知ってる？

リンさん： 大阪府が運営してる住宅のことだよな。

ソンドさん： そう。家賃も安いし、広い部屋が3つぐらいあるんだけど、
人気でなかなか抽選に当たらないんだよね。

リンさん： そうだよな。友達も3回申し込んで全部落ちたって言ってたよ。

ソンドさん： へえ？実は僕、この間申し込んで、昨日抽選発表があったんだ。

リンさん： 結果はどうだった？

ソンドさん： それが、当たっちゃったんだよ。

リンさん： へえ、おめでとう。

ソンドさん： うん、ありがとう。

なかなか当たらない府営住宅の抽選に当たったことを話している場面である。この会話では当選に対する意外性を示すために、「なかなか当たらない」「友達も3回申し込んで全部落ちた」という発話を会話に挿入し、当選の意外性を強調している。

動画⑤ くじ引き(意外なことで嬉しいことがあった・「V-ちゃった」)

会話参加者：2名(友人関係、男性同士)

リンさん： もしもし、ソンド？

ソンドさん： お、リン。どうした？

リンさん： 今日の夜空いてる？

ソンドさん： うん、空いてるけど。

リンさん： あの子、今夜家でしゃぶしゃぶパーティーしない？

ソンドさん： それはいいねー。でも、いきなりどうした？

リンさん： それが実はさ、

—回想シーン—

店員： 豪華賞品が当たるくじ引きやっています。いかがですか。

リンさん： へえ、くじ引きか。でもいつもティッシュしか当たらないんだよな。

ソンドさん： 3000円分のレシートで一回できますよ。

リンさん　：　一回しようかな。
　　　　　　じゃ、お願いします。
店員　　　：　はい、ありがとうございます。では、一回どうぞ。
店員　　　：　おめでとうございます。一等です。
リンさん　：　わあ、当たった。
　　　　　　—回想シーン終了—
リンさん　：　ショッピングモールのくじ引きで一等の黒毛和牛が当たっちゃったんだよ。
ソンドさん：　へえ、それはすごいな。
リンさん　：　一人じゃ食べきれない量だし、ソンドと食べようと思ってさ。
ソンドさん：　わあ、ありがとう。

会話⑤は、会話④と同様に「当選」の場面で、くじ引きで一等に当たったことを話している会話である。くじ引きは意外性のある嬉しさとして日常生活でイメージしやすい場面であるため、この場面を選定している。くじを引く前の場面で「いつもティッシュしか当たらない」という発話を入れることで、一等が当たった意外性を強調した。

今回は日本語学習者に「V-てしまう」の「完了」、「否定的感情」以外の用法を場面や感情の観点から示す目的で会話①～⑤の動画教材を作成した。会話を動画教材として示すことによって、使用される状況がイメージしやすく、BGMや発話者の表情、聞き手の反応から発話者の感情を理解しやすいと考えられる。

この教材を学習者が使用する場合、日本語教育で基本的な用法である「完了」「否定的感情」は既習であるほうが望ましいと考える。今回取り上げた用法は会話で用いられる用法として基本的な用法の後で段階的に学ぶことで意味の混乱を防ぐことができると考えられるからだ。特に「嬉しい」という感情は「否定的感情」と相反する意味であるため、同時に学習すると学習者の混乱を招き、非用につながりかねない。

また、今回作成した教材では会話内の発話や状況設定から使用場面を示すことを試みたため言葉による説明を最小限にしている。そのため今後の課題として同じ用法の動画教材をさらに増やし、学習者が使用状況を感覚的に理解できるようにする必要がある。具体的な指導方法も今後検討していく必要がある。

6. 韓国語・中国語・インドネシア語との対照

本節では、今回作成した動画教材を用いた韓国語・中国語・インドネシア語母語話者の学習者への効果的な導入につなげるため、各言語における「V-てしまう」に当たる文法形式について、および今回教材作成に用いた「V-てしまう」の用法について、韓国語・中国語・インドネシア語とそれぞれ対照を行う。

6.1 韓国語

6.1.1 韓国語の文法説明

韓国語には、日本語の「V-てしまう」に当たる補助動詞がある。鄭（2008）によると、日本語の補助動詞「V-てしまう」形式に対応する韓国語の補助動詞として、主に2つの形式、「～고 말다 (ko malta)」 「～버리다 (a pelita)」が挙げられている。例えば、「私はケーキを食べてしまった」の場合、韓国語にはそれに対応する2つの形式があり、その意味や用法が少し異なる。

(25) 私はケーキを食べてしまった

- | | | |
|--------------|----------------|--------------------------------|
| 1. 나는(nanun) | 케익을(kheyikhul) | <u>먹고(mekko) 말았다(malassta)</u> |
| 私は | ケーキを | 食べてしまった |
| 2. 나는(nanun) | 케익을(kheyikhul) | <u>먹어(meke) 버렸다(pelywssta)</u> |
| 私は | ケーキを | 食べてしまった |

(26) 財布を落としてしまいました。

지갑을(jigabeul)	떨어뜨려(tteol-eotteulyeo)	버렸습니다.(beolyeosseubnida.)
財布を	落として	しまいました。

(27) パソコンが壊れてしまいました。

컴퓨터가(computerga)	고장나(gojangna)	버렸습니다.(beolyeosseubnida.)
パソコンが	壊れて	しまいました。

(28) 漢字の宿題はもうやってしまいました。

한자(hanja)	숙제를(sugjeleul)	이미(imi)	해(hae)	버렸습니다.(beolyeosseubnida.)
漢字	宿題を	もう	やって	しまいました。

例(25)の1や例(26)、(27)の場合は、望んでいなかった残念な結果や否定的な文(過ちや失敗、事件、出来事など)で使われるが、例(25)2と例(28)は、意図的に何かをやってすっきりしたという意味として使われる。このように、韓国語で主に使われる補助動詞2つの形式の中でも、以下の例文(29・30:意外の驚きや嬉しい気持ち)の「V-てしまう」と「V-ちゃった」は、韓国語の補助動詞「～버리다 (a pelita)」に直訳することができる。鄭世桓(2008)は、実際に、「～버리다 (a pelita)」が最も多く使われ、無難に直訳できると述べている。(先行研究での補助動詞「～버리다 (a pelita)」の読み方に関して、今回は、「～버리다(beolida)」と表記する。)

(29) 絶対落ちると思っていたのに、合格してしまった。

진짜로(jinjalo)	떨어질(tteoleojil)	거라고(geolago)
--------------	-----------------	--------------

絶対 落ちると
생각했는데(saenggagahaezneunde), 합격해(habgyeoghae) 버렸다.(beolyeossda.)
思っていたのに、 合格して しまった。

(30) 学校で一番のイケメンの A 君に告白されちゃった。

학교에서(haggyoeseo) 제일(jeil) 멋진(meosjin) A 군에게(Agunege)
 学校で 一番の イケメンの A 君に
 고백 받아 (gobaegbada) 버렸다.(beolyeozda.)
 告白され ちゃった。

日本語の上記の例文の「V-てしまう(25・26・27・28)」と「ちゃう(29)(30)」は、韓国語の補助動詞「～버리다(beolida)」で表すことができる。その用法や機能、文脈、感情の表現などに関しては、韓国語の補助動詞の使い方と似ていると考えられる。しかし、似ているとはいえ、文法的に全く同じ使い方であるわけではない。例えば、上記の例文の「Vてしまう」に関して、日本語のように決まっている「V-て」形だけではなく、韓国語では「しまう」の前にくる動詞によって、語幹の形が変わり「語幹 아(a)/ 여(eo)/ 예(yeo)/ 해(hae)+しまう」になる。

以上のように、韓国語にも日本語と同じく、「V-てしまう」に対応する補助動詞があり、その意味や用法なども似ているが、文の意味によって、表す形式が異なる場合がある。そして、文に使われる動詞によって、語幹の形が変わる。

6.1.2 韓国語における「V-てしまう」用法の表現方法

6.1.2.1 「普通はしないことをする」

(会話②の例)

あのね、チーズのせちゃった。

치즈 (chijeu) 올려버렸어(ollyeobeolyeosseo)
 치즈 のせちゃった。

上に記述したように、日本語で「完了」「残念・後悔」「嬉しい気持ち」を表す「V-てしまう」は韓国語で直訳することが可能である。会話②の例においても、同じく直訳することができる。「チーズのせちゃった。」は、韓国語で「치즈(chijeu) 올려버렸어.(ollyeobeolyeosseo)」となる。前述したように、日本語の「V-てしまう」と「V-ちゃう」は、同一の表現「~버리다(beolida)」に直訳される。

つまり、「普通はしないことをする」場合、韓国語でも、「올려버렸어 (ollyeobeolyeosseo)」に直訳することが可能であり、意味やニュアンス、使い方も日本語と同じであると考えられる。

6.1.2.2 「意外なことで嬉しいことがあった」

(会話④の例)

それが、当たっちゃったんだよ。

당첨(dangcheom) 되버린거야.(debeolingeoya)

当たっちゃったんだよ

「意外なことで嬉しいことがあった」用法の「V-ちゃう」の場合も、韓国語では直訳することが可能である。ただ、日本語では、「当たる」という動詞から「当たっちゃった」になるが、韓国語では「名詞(당첨:dangcheom) + 被動詞(되다:deda) + 補助動詞(버리다:beolida)」という表現になる。名詞(당첨:dangcheom)は、日本語の「当籤」の意味で、被動詞(되다:deda)は、日本語の「～される」になる。韓国語では、受動態を、被動詞を用いて表す。そして、被動詞の形式にはいくつかのパターンがある。上の例文の場合は、名詞(形)の言葉と組み合わせた後、補助動詞をつける形になる。

つまり、上記の会話の場合、「当たっちゃった」を韓国語に訳すと、意味は日本語と同じであるが、表現が変わることになる。

6.2 中国語

6.2.1 中国語の文法説明

日本語の「V-てしまう」には「完了」(アスペクト)、「残念」(感情評価-マイナス)、「意外の嬉しい気持ち」(感情評価-プラス)など、多様な用法がある。中国語では上述した用法・機能を同時に持つ、「V-てしまう」と完全に対応している文法形式は見当たらない。「V-てしまう」、「V-ちゃう」を中国語に翻訳するには、多くの場合、結果の意味をまず明示し、そこから驚き・嬉しいという意味を持つ単語を入れて表現することが多い。場合によっては発話者のイントネーションによってそれらが表現される場合もある。

(31)漢字の宿題はもうやってしまいました。

我 (已经) 把 汉字作业 做完了。

私 (もう) 漢字の宿題 やりました

(32)財布を落としてしまいました。

我 不小心 把 钱包 弄丢了。

私 うっかりと 財布 落としました。

(33)パソコンを壊してしまいました。

我 不小心 把 电脑 弄坏了。

私 うっかりと パソコン 壊れました

(34)絶対落ちると思っていたのに、合格してしまった。

我 以为 会 落榜 的, 没想到 及格了。

私 思っていた 落ちる 思わず 合格した

(35)学校で一番のイケメンの A君に告白されちゃった。

学校里 最帅的 小 A 居然 对我 表白了。

学校で 一番イケメンの A君 まさか 私に 告白した

(31)の「V-てしまう」はある行為・動作を完全に完了することを表している。動作と行為の完了を表す文法として、中国語では「V+完」「V+好」、いわゆる「V+結果補語」の用法が挙げられ、日本語の複合動詞「～終わる」と類似している。また、中国語では「動作が実現した」意味を持っているアスペクト助詞「了」も挙げられ、この「了」は場合によって「てしまう」と直訳することができる。「了」は動詞の後または動詞文の末尾に使われ、使用位置がフレキシブルなため、単独で使用する場合、「V+結果補語」と併せ使うこともできる。例文1の場合、「やってしまいました」は「やる」という動作が最後まで続いていき、最後に「やる」という動作が完了することを意味している。そのため、中国語訳は「“做”(やる) + “完”(完了を表す結果補語)」という文法形式を取り、「宿題をやってしまいました」と同様の意味となる。

しかし、中国語の「V+結果補語」は「完了」「結果の継続」の意味を持つ一方で、日本語の「V-てしまう」が持つ「遺憾」、「嬉しい驚き」の意味は表すことができない。(32)と(33)の各部分を直訳する場合、「我把钱包弄丢了。」(財布を落としました)、「我把电脑弄坏了」(パソコンを壊しました)のように結果を表す翻訳に留まり、「残念」、「マイナスな評価」の意味が含まれない。その意味を付加するには、「“不小心”(うっかりと)」が必要である。

また、(34)の「合格してしまった」は、合格しないと確信しつつ、それに反し「合格」の結果になった意味である。これを中国語に翻訳する場合、合格の結果をまず伝え、「“及格了”(合格した)」を用いる。それに加え、「没想到(思わず)」という実質的に「意外」の意味をもつ副詞を借り、予想外の結果を表現する。同様に、(35)の「告白されちゃった」のような「嬉しい驚き」が感じられる文法は中国語にはないため、副詞「(“居然”(なんと))」を加えて「意外な結果」を表す。しかし、(35)の場合告白されたことに対する「照れ隠し」がやや感じられる。日本語の場合、「動詞+ちゃう」を使うことによって、告白されたことをアピールする意味を避けることができる。そういう意味で、「ちゃう」は一種の緩和表現になる。中国語訳の「居然对我表白了」は、表現自体は「照れ隠し」の機能を持たないため、

「照れ隠し」になるかどうかは、発話者のイントネーションや表情をその場その場で判断することになる。

以上で述べたように、「V-てしまう」、「V-ちゃう」は多種の意味が含まれており、中国語訳するには「意外な結果」を表す副詞を借りたり、発話者の表情やイントネーションにたよったりするなどの手段を加えることが必要となる。

6.2.2 中国語における「V-てしまう」用法の表現方法

6.2.2.1 「普通はしないことをする」

(会話②の例)

じゃーん、チーズのせちゃった。

你看，我 放了 芝士 在里面（呢）。

ほら、私 のせた チーズ 中に（よ）。

ヨーグルトにチーズをのせたことで、「V-ちゃった」が用いられる場面である。そこには普段しないことをする意外性が含まれている。それについて中国語訳は、「我放了芝士（チーズのせた）」と単純に動作を表す訳文になる。この翻訳は上述した例文のように、意外性を表す「居然」（なんと）」「没想到」（思わず）などの副詞を挿入すると発話者はチーズのせたことを強く強調するニュアンスになり不自然であるため、この場合副詞は挿入しない。その代わりに、「呢」（ね）のような相手の注意を引く終助詞を使うことで、「普段しないことをした」のニュアンスを表現できるようになる。

6.2.2.2 意外なことで嬉しいことがあった

(会話④の例)

それが、当たっちゃったんだよ。

我（竟然） 抽中了 /我中啦/ 我抽中了呢

私（まさか）当たった/当たった/当たったね

ここでは当たらないと思っていた抽選に当たったことを示し、「V ちゃった」を使っている場面であり、「意外な結果」、「嬉しい驚き」を表している。中国語の訳文は「“我抽中了”（当たった）」「“我竟然中了”（思わず当たった）」「“我中啦”、“我抽中了呢”（当たったんだよ）」などがある。

まず、「当たった」ことを簡単に答えることが一つ自然な表現方法である。ほかに結果を副詞「竟然」と合わせて使うのと、相手の注意を引く終助詞“呢”を加えるのと、二種類の翻訳方法があるが、抽選に当たったことは、場合によって、聞き手が「抽選に落ちた」可能性がある。“竟然”と“呢”を入れると意外性を強調し、アピールする意味が強くなるため、相

手への配慮に欠けることがある（当たらない人への配慮）。そのため、“竟然”と“呢”を省いて「当たった」と翻訳したほうが「嬉しい気持ち」を率直に伝えられる。

6.2.3 中国語母語話者に対する導入の際の留意点

上述したように、日本語の「V-てしまう」、「V-ちゃう」は「完了」、「遺憾」、「嬉しい驚き」等さまざまな意味を持っている。それと対照に、中国語では「V+結果補語」のような「完了」を表す文法項目しかない。日本語の「V-てしまう」、「V-ちゃう」は中国語の「V+結果補語」と比べ、「遺憾」、「嬉しい驚き」等もあり、語義に富んでいる。また、今回の会話例に関する話し手の心理的な側面から考えると、「嬉しい気持ちの強調を避けたい」、「府営住宅の抽選に落ちた聞き手への配慮」といった要素も含まれている。日本語の「V-てしまう」、「V-ちゃう」は単なる文法形式ではなく、話し手の心情をも表す表現である。そのため、「V-てしまう」、「V-ちゃう」は語義の面からも、また感情表現に関わる文化的な側面からも、中国人学習者にとって習得困難な表現だと考えられる。

張(2001)は、中国語は文法的・形態的に変化が少ない特徴があると述べている。中国語の文は格変化、語尾変化、接続助詞などのような「文法的」機能のある言葉や変化で意味が成り立つことが少ない。副詞、名詞など実質的な「意味」のある単語の「集合」である。今回取り上げた例文や会話例の中国語訳では、中国語の実質的語義をもつ副詞（「思わず」、「うっかりと」など）を借りて、「V-てしまう」「V-ちゃう」の意味やニュアンスを表現することが多い。しかし、「V-てしまう」「V-ちゃう」は語義が富んでいると同時に、話し手の心情や文化的な側面も関わった表現であると見られる。そう考えると、「V-てしまう」「V-ちゃう」を説明する教科書には、例文に翻訳を一文つけて説明するという従来のやり方では不十分であり翻訳文以外に「V-てしまう」「V-ちゃう」の補足説明を加える必要があると考えられる。また、今回取り上げた動画会話例は、「V-てしまう」、「V-ちゃう」が「どんな場合に使うか」「使い手の心理はどのようなものか」を学習者に会話の環境から捉えてもらうのが大きな特徴である。使用状況が複雑である「V-てしまう」と「V-ちゃう」を習得するには、とりわけ「文脈」と「感情」が必要であろう。これからの「V-てしまう」と「V-ちゃう」の説明は意味の説明、翻訳文のみならず、話者の心理や、「状況に適した言語使用」など、情報をより多く示す必要があると考えられる。

6.3 インドネシア語

6.3.1 インドネシア語の補助動詞「V-てしまう」の文法説明

インドネシア語では、基本的に日本語の補助動詞と同じ役割を果たすものは、主に副詞であるとされる。SVO構造をもつインドネシア語の場合、文節の成り立ちにおいては、副詞は述語の前にくるのが一般的である。また、インドネシア語での副詞は、否定・数・制限・増加・頻度・質・時間・完了・仮定・義務・程度・可能・希望・願望・確信を表す

ものに分類されている（ハエル、2009:49）。従って、インドネシア語には補助動詞「てしまう」も存在しないが、それと似たような表現は、「完了」を表すために、完了の副詞「sudah」と「終わる」を意味する動詞「selesai」を組み合わせて用いられる。さらに、補助動詞「てしまう」はある動作の全てが完了したという意味も含まれているため、「全部」を意味する名詞「semua」をつけることが必要であると考えられる。以下に例文を挙げる。

(36)『げんじものがたり』は全部読んでしまいました。

Saya	<u>sudah selesai</u>	<u>membaca</u>	<u>semua</u>	<u>Genji Monogatari.</u>
私	終わりました	読む	全部	『げんじものがたり』

(37)漢字の宿題はもうやってしまいました。

Saya	<u>sudah (selesai)</u>	<u>mengerjakan</u>	<u>semua</u>	<u>tugas</u>	<u>kanji.</u>
私	終わりました	やる	全部	宿題	漢字

(36)においては「読み終わった」の他に『げんじものがたり』の全ての巻を読んだという意味が含まれているため、インドネシア語に訳すと「selesai」を「membaca」（読む）の前に、「semua」（全部）をつけることになる。(37)も完了の他に全ての漢字の宿題をしたという意味をもつため、「semua」をつけなければならない。

補助動詞「V-てしまう」は「完了」の他に、「残念・後悔」を表す場合にも用いられる。完了を表す用法と異なり、「残念・後悔」を表す補助動詞「V-てしまう」は次のようにインドネシア語に訳す。

(38)言ってはいけないことを言ってしまいました。

Saya	<u>terlanjur mengatakan</u>	hal	yang tidak boleh dikatakan.
私	言ってしまった	こと	言ってはいけない

<https://komachi.yomiuri.co.jp/t/2012/0111/474591.htm?p=0>

(39)財布を落としてしまいました。

Saya	<u>tidak sengaja</u>	<u>menjatuhkan</u>	<u>dompet.</u>
私	わざとではない	落とした	財布

(38)は、「自分がそれを言ってはいけないことだとわかっているが言った。しかし、それを言ったことを後悔している」ことを表す。この場合は動詞の「terlanjur」を「mengatakan」（言う）につける。「terlanjur」は「もうそうなったから、仕方がない」という意味をもつ。(39)は「主語は財布をわざと落とすつもりがなかったが、財布がどこかで落ちたことに気

が付いて残念に思うことを表す。この文脈においては、「terlanjur」ではなく「tidak sengaja」（わざとではない）を使用して表す。c と d を見れば、双方「残念・後悔」を表すが、インドネシア語においてはニュアンスが異なるから、同じように表せないということである。以上は「完了」と「残念・後悔」を示す補助動詞「てしまう」であるが、「意外なことで嬉しいことを」を表す場合、インドネシア語ではどのように表すのであろうか。以下の例文を見ていこう。

(40) 努力をそれほどせずに合格しちゃった。

Lulus ujian tanpa berusaha sebegitu kerasnya.
合格する 試験 抜きで 努力 ほど 必死で

(<https://www.oyawaza.com/backnumber/no897.php>)

(40)は「意外なことで嬉しいこと」を表し、「入学試験のための勉強はしたが、合格する自身がなかった。でも、意外と合格した」ことを指す。この文脈においては「ternyata」を「lulus」（合格）の前につける。「ternyata」は「予想外」、「意外と」あるいは「思っていたより」という意味をもち、(40)の文脈には当てはまるのではないかと考えられる。

6.3.2 インドネシア語における「V-てしまう」用法の表現方法

ここでは、「V-ちゃう」のもつ「普通はしないことをする」用法と「意外なことで嬉しい気持ちを表す」用法の例文を取り上げながら、インドネシア語で同様の表現を紹介し、統語的・意味的にどのような構造を持っているかについて簡潔に記述する。

6.3.2.1 「普通はしないことをする」

最初に、「V-ちゃう」のもつ「普通はしないことをする」例文を次にみておきたい。

(会話②の例)

じゃーん、チーズのせちゃった。

Aku tuangkan keju, dong!

あたし のせた チーズ よ

会話②の「ちゃう」の例文では、「普通はしないこと」という意味を強調する「チーズのせちゃった」という表現に対し、インドネシア語では、“Aku tuangkan keju, dong! (直訳：私がチーズをのせたよ！)”という表現になる。上記の(6.3.1の文法説明)で記述した「完了」「残念・後悔」を＜完了の副詞＋「終わる」を意味する動詞＋特別な名詞＞で表すパターンと異なり、終助詞‘dong’がつく。話し手の“普通はしないこと”というニュアンスを強調する場合は、終助詞の‘dong’を文末につけることによって、話し手が普通はしないことをするときのニュアンスがより自然に伝わってくると考えられる。インドネシア語の終助詞‘dong’

は意味的に、話し手の‘喜び・誇り・悲しみ・失望・不安など’というプラスやマイナスの様々な気持ちを表すときに用いられる終助詞の一つである。この場合の‘dong’は、話し手が普通はしないことをすることを強調すると同時に、これまで作ったことのないものが成功に出来上がったという話し手の誇りを示すニュアンスも感じられる。

6.3.3 インドネシア語母語話者に対する導入の際の留意点

補助動詞の概念が用いられないインドネシア語の母語話者は、日本語の補助動詞を学習する際に、理解するまでかなりの時間を要すると考えられる。そこで、学習者にどのように補助動詞の概念を理解してもらえばいいのか、指導者は包括的な指導方法や工夫などを考えるべきである。まず、学習者に最初に示すべきことは、補助動詞の概念である。指導者は、インドネシア語の文法上において、日本語の補助動詞と同等な役割をもつものから導入する必要がある。例えば、補助動詞の「V-てしまう」や「V-ちゃう」の場合、最初に導入される「完了」「残念・後悔」を表す用法から、今回取り上げた「意外性」や「普通はしないこと」を表す用法に対する、インドネシア語での同様の意味や統語的な構造を説明する必要があると考えられる。具体的にいうと、前述した「てしまう」の様々な用法には、インドネシア語で同等な表現はなく、表現のしかたも異なるため、それぞれの異なる構造を説明しなければならない。「完了」の「てしまう」の場合、意味的に構造的に「完了の副詞＋完了動詞＋全ての意味する名詞」というパターンを説明したあと、分かりやすく代表的な例文を示す必要がある。そして、「残念・後悔」「意外性」や「普通はしないこと」を表す「てしまう」の場合は、「特別な動詞＋主動詞＋終助詞」というパターンが一般的である。特に「普通はしないことをする」と「意外なことで嬉しいことがあった」の新たな「V-ちゃう」の用法についてインドネシア人日本語学習者を指導するために下記のように注意点がいくつかある。

- 「普通はしないことをする」という「V-ちゃう」の用法は、必ずしも良いことを表すと限らないため、プラスやマイナスなどのニュアンスを含み、分かりやすい例文を取り上げれば、用法もはっきり理解してもらえると考えられる。
- 「意外なことで嬉しいこと」の「V-ちゃう」は自慢や自信を表すのを控える働きがあるため、それをインドネシア人日本語学習者に説明しなければならない。

7. おわりに

本稿では、補助動詞「V-てしまう」の「完了」、「残念・後悔などの否定的感情」以外の用法について、「普通はしないことをする」「意外なことで嬉しいことがあった」の2つの用法を取り上げ、場面、感情の観点から学習者の使用を見据えた動画教材を作成した。また、今回取り上げた2つの用法について韓国語、中国語、インドネシア語との対照を行った。対照を行った結果、日本語と韓国語の補助動詞は似ていることがわかった。し

かし、先行研究や今回の論文に取り上げた例からみると、文によって、表す形式や意味、文法などが少し異なる場合がある。そういったことで、日本語指導者は日本語と韓国語の補助動詞の相違点に注目しながら、韓国語母語話者の日本語学習者に指導する必要があると考えられる。そして、インドネシア語と中国語に関しては「V-てしまう」と「V-ちゃう」の用法に対応する表現が異なるため、構造的には、副詞や決まった動詞や終助詞の組み合わせで成り立つ文型で表すことを示した。

会話教材に関しては、今回は状況を踏まえた会話の作成にとどまったため、この会話教材を用いた具体的な指導方法を今後提案していきたい。また、今回の対照を元に韓国語、中国語、インドネシア語の母語話者に対する指導方法に関しても今後検討する必要がある。今後は「V-てしまう」「V-ちゃう」の多義的特性への分析を深め、教材や教授法に生かす方法を考えていきたい。

参考文献

- 一色舞子(2011)「日本語の補助動詞「-てしまう」の文法化:主観化、間主観化を中心に」『日本研究』15, 201-221
- 汪聞君・中谷真也・パンクラートワスネジャーナ(2018)「「てしまう」用法再考」『阪大日本語教育学研究』8, 大阪大学大学院言語文化研究科 筒井佐代研究室, 17-28
- 田村敏広(2013)「言語のアスペクト的性質を基盤とした話者の感情表出:日本語の補助動詞「てしまう」と英語 Get 受動文を例に」『静岡大学教育研究』9,1-9
- 張又華(2011)「主観的・間主観的意味の発生をめぐって:日本語アスペクト形式「テシマウ」「チャウ」を例に」『言語科学論集』17, 131-142
- 筒井佐代(2019)「感情表現としての補助動詞の考察:V-テクルを例に」『外国語教育のフロンティア』2, 127-141
- 鄭世桓(2008)の「韓国語の補助動詞 ko malta 形式の意味・用法一対照言語学的観点から一」島根県立大学『統合政策論叢』14,115-116
- 中山富子(2015)「補助動詞「～てしまう」の考察一談話の構造に注目して一」『昭和女子大学大学院. 言語教育・コミュニケーション研究』10, 1-19
- 松本みなみ・ラーマナ・ヌル・アリニ・李 偉・磯見真澄(2019)「補助動詞「V ちゃう」の用法の分類再考と導入法の提案一中国語・インドネシア語を母語とする日本語学習者を対象にして一」『阪大日本語教育学研究』9, 大阪大学大学院言語文化研究科筒井佐代研究室, 41-61
- 山崎恵(2016)「談話における縮約形の意味・機能一「てしまう」をめぐって一」『姫路独協大学 外国語学部紀要第』29, 61-68
- 吉川武時(1973)「現代日本語動詞のアスペクトの研究」Linguistic Communication 9.金田一春彦編『日本語動詞のアスペクト』麦書房, 155-328
- Chaer, Abdul. (2009). *Sintaksis Bahasa Indonesia (Pendekatan Proses)*. Jakarta: Rineka Cipta.

日本語教科書

『初級日本語げんきⅡ』(1999) 坂野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子編, The Japan Times

『文化初級日本語Ⅱ』(1987) 文化外国語専門学校編, 凡人社

『みんなの日本語Ⅱ第二版 本冊』(2013) スリーエーネットワーク

日本語指導書

市川保子(2005)『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク

友松悦子・宮本淳・和栗雅子(2013)『改訂版 どんときどう使う日本語表現文型 初・中級』アルク

松岡弘(監)・庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク

張黎(2001)『漢語意合語法学綱要』中国書店

今回作成した動画教材のリンク

<https://youtu.be/LWkDm-qQUi8> (普通はしないことをする)



https://youtu.be/abg_NJ87xPQ (意外なことで嬉しいことがあった)

